

事案名	竹原市の事案（広島県34-10）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「海中投棄規制条約発効後の自衛隊による化学兵器の処理状況について」〔1〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔2〕
資料内容概要	<p>昭和52年10月、広島県竹原市忠海町で個人が保有していた「ちび弾」と推定される空の容器を自衛隊が処理し、昭和53年2月に海洋投棄した。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和52年10月12日に、広島県竹原市忠海町で個人が保有していた「ちび弾」と推定される空のガラス製容器を、自衛隊が発弾処理に準じてコンクリート詰めにし、昭和53年2月に海洋投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。